

群馬県
退職校長会だより

第84号

発行 群馬県退職校長会
群馬県前橋市総合教育センター
TEL 027-235-1574

編集 広報部長 金子修
印刷 朝日印刷工業株式会社

令和4年度 群馬県退職校長会 書面による定期総会へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

群馬県の新型コロナウイルス感染症の収束が見られず、代議員の安心・安全、健康を第一に考慮し、代議員が一堂に会する定期総会の開催を中止することとし、書面による承認決議を実施しました。

表決の結果は、議案全て全会一致により可決しました。

議案

- 第1号 令和3年度事業報告
- 第2号 令和3年度決算報告・会計監査報告
- 令和4年度役員一覧
- 第3号 令和4年度活動方針(案)
- 第4号 令和4年度事業計画(案)
- 第5号 令和4年度予算(案)

定期総会でのあいさつ・祝辞・受賞(章)者代表謝辞・新会員代表あいさつにつきましては、メッセージをお寄せ頂きましたのでご紹介いたします。

会長あいさつ

会長 松井和夫



コロナ禍、これまで2年半にわたり、日常の社会生活や活動に移動制限や活動自粛など様々な

対策が続いた中、会員の皆様がお元気で過ごされ、また、各支部において会員相互の交流と情報交換や学校支援等が可能な範囲で行われていますことに、心より感謝と敬意を表します。

定期総会は、今年度も感染拡大防止のため書面議決とすることとし、原案の通りご承認が頂けました。本号に詳細を掲載してある活動方針・計画に沿って進めますので、ご理解と協力をお願い致します。

学校教育はこの3年の間も急速に大きく変化をしてきました。授業を直接

見る機会はなかなか訪れませんが、IGAスクール構想の先取り実施、年次進行の35人学級の実施、小学校教科担任制の拡大、教員免許更新制の発展的解消、廃止と研修制度の見直しなど、小・中学校の教育、子どもたちの学習環境は一気に加速度をつけて変化しようと思われれます。一人1台のタブレットを用いた授業、ネットワークを利用したオンライン授業やデジタル教科書を使用した学習と電子黒板を駆使した授業が行われていると聞きます。

教育機器活用の授業は指導する先生方も様々な対応が必要で、先生方は内容的にも時間的にも忙しくなっているのではないかと考えられます。臨時の教員不足や教員の志願者が減少している状況の中、以前にも増して教員の働き方改革が強く叫ばれている時、まだまだ課題は大きいように感じられます。

このような時に、退職校長の立場から学校支援や、教育ボランティアとして貢献できることが数多くあるのではと改めて思います。

さて、令和3年度は多くの会議や行事が中止になったことから「本来の活動目的を中心に無理をしない範囲で活動を進めていこう」と諸活動を展開して参りました。事業の詳細は事業部発行の「Nenrin」第20号、広報部発行の「退職校長会だより」にも活動の様子は掲載されています。

主な行事では、「ぐんま教育の日」推進大会を県教育委員会後援のもと県教育振興会加盟諸団体等と連携を図り開催しました。地域連携の推進に関する

実践発表と市町村「教育の日」制定を主眼にして取り組んできました。

また、新任の校長先生に祝意を表し記念品を贈りました。支部活動助成金は通常時に加えて支部活動特別助成金として、各支部が活動幅を広げられるように支出を行いました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の今後の様子を見ながら慎重に事業の実施をして参ります。3年間中止されていた宿泊研修会の代わりに、10月に現地研修会を予定しています。

また、本部・事務局のインターネット利用環境機器の整備を行い、リモート会議や今後行われる群馬県退職校長会60周年記念事業、関東甲信越地区退職校長会連絡協議会開催に向けて準備を行います。退職校長会ホームページ発信ができる環境も整えつつあり、実施できるよう進めたいと考えています。

広報部の「退職校長会だより」は年間2回発行し、時期に合った情報の発信も引き続き積極的に行っていきたいと思えます。

会員の福利厚生、医療、年金、保険、介護問題等については、全国連合退職校長会と連携を図りながら、要望活動を推進して参ります。

終わりに、退職校長会の活動は支部と県の活動で進められています。両者の連携を一層密にして、地域の教育活動の応援団として「社会から期待される、存在感のある退職校長会」を目指して今年度の活動を推進していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

祝辞

群馬県教育委員会

教育長 平田 郁美

皆様には、日頃より教育界の先達として、本県教育の発展にお力添えをいただいていること、さらには、第一線を退かれた後もなお、それぞれが地域の中核として、学校教育や社会教育を支援し、御活躍されていることに対し、深い感謝と心からの敬意を表すとともに、本会の御盛会をお祝い申し上げます。

本会は、創立以来、半世紀以上に渡り、本県の教育行政の推進に重要な役割を担っていただいております。県教育委員会といたしましては、皆様方が築かれてきた学校教育の伝統をしっかりと受け継ぐとともに、時代の変化に対応しながら、常により良い教育を目指し、様々な課題の解決に、邁進してまいります。

さて、コロナ禍により、社会全体のデジタル化をはじめ、社会が急速に変化する中、学校教育も大きな転換点を迎えております。本県では、子どもたちの学びを止めないために、全ての市町村の御理解・御協力を得て、小・中・高等学校において、一人1台端末の整備を進めてまいりました。また、学校教育をはじめとする教育全般についての基本的な方向性をまとめた「第2期群馬県教育大綱」及び「第3期群馬県教育振興基本計画」の基本目標である「たくましく生きる力をはぐくむ」自らの可

能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う」に基づき、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す「教育イノベーション」を推進しています。

特に、昨年度からは「ニューノーマル GUNMA CLASS PI (プロジェクト)」として、県内全ての公立小・中・義務教育学校の全学年において35人以下(小1・2は30人以下)の少人数学級編制を実施し、子どもたちにとつて安心・安全な学習環境を整備するとともに、誰一人取り残さない学びを推進しております。

昨年度は、感染防止対策として、各学校では、子どもたちが楽しみにしている行事の中止や変更等の対応を余儀なくされました。今年度は、新しい生活様式の定着とともに、2年以上に渡るコロナ禍での知見を得て、各学校が工夫を凝らして学校行事と様々な活動を計画し、実施することができていると聞いております。少しずつ子どもたちの笑顔が戻ってきていることを実感しているとともに、改めて、学校という場所は、子どもたちにとって大切な居場所であり、集団生活を通して社会性を育む場でもあることを再認識しております。御退職された皆様方におかれましては、今後とも学校教育の充実のために、豊富な知識や御経験をいかし、お力添えをいただければ幸いです。

結びに、群馬県退職校長会のますますの御発展と皆様の御健勝を御祈念申し上げます。祝辞といたします。

祝辞(要旨)

全国連合退職校長会

会長 入子 祐三

新年度を迎えて会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。本年度も書面による総会に切り換えた由で、ご挨拶の機会を頂きましたので、雑感を述べさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一つとして「3密」を避けた「日常の生活習慣」や「学習の場」を吟味する必要性に迫られて、いろいろな意見が交わされ、一時混乱の様相だったと聞きました。例えば、

○教室は満杯だから2部授業にしたらどうか。

○集団登下校の歩き方・間隔歩行・会話などの指導を見直す必要があるのではないか。

○給食指導で、食べ方、会話や声量などの指導はどの程度にするか。

○家庭への細かな連携はどうするか。

等です。これらのことは、管理職の調整・リーダーシップ等により見事に対応することができたとのことでした。

次に「対面式学習」が問題になり、「感染に配慮した授業」「グループの編成、会話・相談等の声量を押さえた授業」を実施する中「ICT」の研究が進み「パソコンの導入」「オンライン学習」が登場する流れになりました。

「ICT」は、3年かけて機器を整備する計画で研究中でしたが、この動きの後押ししたのが「GIGAスクール構想」でした。これは、児童に1台の端末を持たせて学習するシステムで「デジタル化の学習」へと急速に展開していったと聞きました。このことにより、学習の場が急な変化によって混乱し始め、学習の低下が心配されるようになり、「アクティブラーニング」指導を取り入れた「指導の改善」を見直す声が盛んに聞こえるようになりました。私は、この期を逃さず対応策を講じなければならぬと思いました。

多くの課題を残したコロナ禍の置き土産を、どのようにすべきか考えなければと思います。

終わりに、会員の皆様のご健勝をお祈りするとともに、本会のご発展をご祈念いたします。

令和4年度 活動方針

社会から期待される存在感のある退職校長会に

人口減少・少子高齢化、技術革新、グローバル化など、我が国が直面する現状と課題を踏まえ、国は、教育

を通じて生涯にわたる一人ひとりの「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育施策に掲げた

「第3期教育振興基本計画」を策定し、教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図っている。

本県においても、「時代を切り拓く力の育成」「確かな学力の育成」「生涯学習社会の構築」など、8項目の基本施策からなる「第3期群馬県教育振興基本計画」を策定し、令和元年度から新たな取組を開始している。

また、県行政は教育施策の方向性を定める第2期群馬県教育大綱で「群馬ならではの学び」などの実践を基本方針とする5カ年計画を策定し、方向性をまとめ県教委と共有化して推進している。

本会は、会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与することを目的として1965年（昭和40年）に発足し、今年度は創立後57年を迎える。

国や県において、新しい時代に対応した教育振興施策が推進されていることを踏まえつつ、本会は会則に則り、次に掲げる基本方針と各部・委員会の活動の重点等に基づき、存在感ある退職校長会を目指し活動を推進する。

I 基本方針

1 本会目的の「会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与すること」の具現化に向けて、支部相互の連携を一層密にして組織が一体となって活動を推進す

る。

2 学校・家庭・地域社会への教育支援活動及び生涯学習の振興を積極的に推進する。

3 「ぐんま教育の日」の取組を積極的に支援するとともに、関係諸団体との連携強化に努め、市町村「教育の日」制定の活動を推進する。

4 全国連合退職校長会及び関東甲信越地区退職校長会との情報交換を密にし、資料提供及び連携強化に努める。

II 活動の重点

1 組織整備・運営の活性化、福利厚生の充実（総務部）

(1) 定期総会と定例理事会の企画・運営に努める。

(2) 本部・理事会と各支部との連携強化に努める。

(3) 各部、委員会との連絡・調整を図る。

(4) 各支部の組織及び事業内容等の情報収集・提供に努める。

(5) 現職校長会との連携強化に努める。

(6) 慶弔規程や福利厚生の手順な運営に努める。

(7) 年度末に定年退職時校長等へ敬意を表すとともに本会への加入勧誘を活発に行い、さらに人脈を生かして新入会員の確保に努める。

(8) 新任校長へ祝意を表すなど本会の加入促進のための活動や広報活動に努める。

(9) 令和4年度版「新入会員名簿」を作成し、全会員に配付する。

(10) 新型コロナウイルス感染症の感染・収束状況を考慮し、健康安全を第一にした会の運営に努める。

2 会員相互の連携・親睦、教育支援活動の積極的な推進（事業部）
次の事業を推進し、会員相互の連携・親睦及び群馬県退職校長会の充実を図る。

(1) 実践発表、講話、理事会、現地研修会等、充実した研修会を開催する。

(2) 令和4年度の各部や支部の活動報告「Nen Rin」第21号を編集・発行する。

(3) 現地研修会の実施及び「Nen Rin」第21号の編集・発行を通して、学校・地域社会の教育活動の推進及び同好会やクラブ活動の奨励に寄与する。

3 広報活動の改善・充実（広報部）
(1) 会報「群馬県退職校長会だより」を年2回発行する。

(2) 会員の寄稿「生き生き人生」や会員の活動、動静等を積極的に掲載する。

(3) 「学校は今」として、県下小・中学校現場の情報を掲載し、教育の現状を紹介する。

(4) 研修・教養コーナーとして、県内の遺跡や文化・自然遺産とそれに関わる人物を紹介する。

(5) 「群馬県退職校長会だより」を会員及び現職校長、県・市町村教育委員会等に配付する。

4 「ぐんま教育の日」の推進及び市町村の「教育の日」制定の推進（教育の日委員会）

(1) 群馬県教育委員会、（一財）群馬県教育振興会・関係諸団体等との連携を図り、各支部退職校長会とともに「教育の日」の推進に努める。

(2) 各支部において「教育の日」に関する共通理解を図るとともに、関係団体等への啓発に努める。

(3) 「教育の日」未制定市町村に要望書を提出する。

(4) 「ぐんま教育の日」推進大会を開催し、意識の高揚を図るとともに、今後の更なる推進に努める。

(5) 市町村「教育の日」Q&A、「教育の日」制定・推進の手引き、「第3期教育振興基本計画」の活用を図る。

(6) 「教育の日」全国制定・実施状況等や「教育の日」制定市町村における「教育の日」制定・推進の関係資料の収集・提供・活用に努める。



令和3年度 主な事業・活動の報告

- 4月**
 - ・令和2年度会計監査
 - ・第1回総務部会
 - ・第1回本部役員会
 - ・4月定例理事会
 - ・全連退第1回常任理事会(中止)
- 5月**
 - ・第2回本部役員会
 - ・定期総会書面により実施
 - ・第1回教育の日委員会
 - ・第1回事業部会(書面開催)
 - ・第1回広報部会(中止)
 - ・新任校長へ記念品を贈呈
- 6月**
 - ・全連退第1回理事会(中止)
 - ・全連退第57回総会(中止)
 - ・第2回事業部会(書面開催)
 - ・第2回広報部会
 - ・第2回教育の日委員会
 - ・第2回総務部会
- 7月**
 - ・全連退第2回常任理事会(中止)
 - ・第3回本部役員会
 - ・7月定例理事会
 - ・「退職校長会だより」82号発行
 - ・「会員名簿」配付
- 9月**
 - ・第3回事業部会(書面開催)
 - ・全連退第3回常任理事会(中止)
 - ・第3回教育の日委員会
 - ・第3回総務部会
- 10月**
 - ・第3回広報部会
 - ・第4回本部役員会
 - ・第50回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会長野大会(書面開催)
 - ・10月定例理事会
 - ・11月
 - ・現職校長会との研究協議会(中止)
 - ・全連退第4回常任理事会
 - ・「くんま教育の日」推進大会
 - ・実践発表会
 - ・第4回教育の日委員会
- 12月**
 - ・第4回広報部会
- 1月**
 - ・第4回総務部会
 - ・第5回本部役員会
 - ・1月定例理事会
 - ・「退職校長会だより」83号発行
- 2月**
 - ・顧問・本部役員会
 - ・全連退第5回常任理事会(中止)
 - ・第4回事業部会(書面開催)
 - ・定年退職校長等へ加入勧誘
- 3月**
 - ・第5回総務部会
 - ・第5回事業部会
 - ・第6回本部役員会
 - ・「NenRin」第20号発行

令和3年度 一般会計決算 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 収入の部

(単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 会費	4,995,000	4,893,974	△101,026	会費納入者 1,635人
2. 繰越金	536,772	536,772	0	前年度繰越金
3. 繰入金	300,000	300,000	0	特別会計より令和3年度版会員名簿作成費
4. その他	110,014	110,016	2	弘済会・教育振興会助成金、前橋支部負担金、利息
合計	5,941,786	5,840,762	△101,024	

※会費決算額Bの端数：振込手数料を減じた会費納入のため

2 支出の部

(単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 総会費	310,000	159,873	△150,127	総会関係費
2. 会議費	70,000	48,560	△21,440	諸会議関係費
3. 事業費	750,000	840,005	90,005	支部活動助成金、支部活動特別助成金、新任校長祝品代、教育の日推進大会費等
4. 備品費	70,000	109,851	39,851	デジタルカメラ、ソフト代
5. 管理費	170,000	140,911	△29,089	事務所使用料、光熱費等
6. 行動費	1,120,000	1,072,000	△48,000	本部・事務局行動費
7. 事務費	130,000	143,912	13,912	用紙・インク等事務消耗品代
8. リース代	170,000	156,264	△13,736	コピー機リース代
9. 印刷費	900,000	807,278	△92,722	退職校長会だより・NenRin・コピー機印刷代・令和3年度版会員名簿印刷製本代
10. 通信費	200,000	225,093	25,093	電話・切手・葉書代、送料等
11. 交通費	350,000	206,300	△143,700	諸会議旅費
12. 慶弔費	380,000	231,208	△148,792	香典・レタックス代等
13. 負担金	680,000	659,000	△21,000	全連退(会員1人400円)・群馬県教育振興会負担金
14. 加入者負担金	0	0	0	
15. 積立金	200,000	300,000	100,000	特別会計へ積立(令和7年度の関ブロ群馬大会・創立60周年事業・会員名簿作成の資金)
16. 関ブロ関係	90,000	0	△90,000	
17. 雑費	100,000	107,800	7,800	パソコン・ディスプレイ代
18. 予備費	251,786	0	△251,786	
合計	5,941,786	5,208,055	△733,731	

3 差引残高 5,840,762 - 5,208,055 = 632,707 632,707円は次年度に繰り越します。(年度当初の運営資金)

令和3年度 特別会計決算

1 収入の部

(単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 繰越金	943,952	943,952	0	令和3年度作成「会員名簿」印刷製本資金を含む
2. 繰入金(積立金)	200,000	300,000	100,000	令和7年度関東甲信越地区退職校長会連絡協議会群馬大会(予定)に向けた資金・令和7年度群馬県退職校長会創立60周年事業に向けた資金・令和7年度「会員名簿」作成に向けた資金
3. 利子等	3	7	4	
合計	1,143,955	1,243,959	100,004	

2 支出の部

(単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 繰出金	300,000	300,000	0	令和3年度作成「会員名簿」(4年毎に作成)印刷製本代
合計	300,000	300,000	0	

3 差引残高 1,243,959 - 300,000 = 943,959 943,959円は令和4年度に繰り越します。

令和4年度 主な事業・活動の計画

- 4月
 - 令和3年度会計監査
 - 第1回総務部会
 - 第1回本部役員会
 - 4月定例理事会
 - 全連退第1回常任理事会
 - 書面定期総会議案書等の発送
- 5月
 - 書面による定期総会
 - 第1回教育の日委員会
 - 第1回事業部会
 - 第1回広報部会
 - 新任校長へ記念品を贈呈
- 6月
 - 全連退第1回理事会
 - 全連退第58回総会
 - 第2回事業部会
 - 第2回広報部会
 - 第2回総務部会
 - 第2回教育の日委員会
- 7月
 - 全連退第2回常任理事会
 - 第2回本部役員会
 - 7月定例理事会
 - 「退職校長会だより」84号発行
 - 「新入会員名簿」配付
- 8月
 - 全連退正副会長会議
- 9月
 - 第3回事業部会
 - 全連退第3回常任理事会
 - 第3回教育の日委員会
 - 第3回総務部会
 - 第3回広報部会
- 10月
 - 第3回広報部会
- 11月
 - 全連退第2回理事会
 - 第3回本部役員会
 - 10月定例理事会
 - 第51回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会埼玉大会
 - 研修会前橋市「臨江閣」
- 12月
 - 全連退第4回常任理事会
 - 現職校長会との研究協議会
 - 「ぐんま教育の日」推進大会
 - 第4回教育の日委員会
- 1月
 - 第4回広報部会
- 2月
 - 第4回総務部会
 - 第4回本部役員会
 - 1月定例理事会
 - 「退職校長会だより」85号発行
 - 顧問・本部役員会
- 3月
 - 全連退第5回常任理事会
 - 第4回事業部会
 - 年度末退職校長等へ加入勧誘

令和4年度 新役員紹介

理事 嶋田 孝夫(前橋)

理事 桑原 幸正(安中)

理事 小井戸良久(甘富)

令和4年度 一般会計予算(案) (令和4年4月1日~令和5年3月31日)

1 収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 会費	4,935,000	4,995,000	△60,000	会費納入者1,645人(見込み)
2. 繰越金	632,707	536,772	95,935	前年度繰越金
3. 繰入金	0	300,000	△300,000	
4. その他	110,016	110,014	2	弘済会・教育振興会助成金、前橋支部負担金、利息
合計	5,677,723	5,941,786	△264,063	

2 支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 総会費	160,000	310,000	△150,000	総会(書面による総会)関係費
2. 会議費	100,000	70,000	30,000	諸会議関係費
3. 事業費	800,000	750,000	50,000	支部活動助成金、教育の日推進大会費、研修会関係費、新任校長祝品代
4. 備品費	70,000	70,000	0	ソフト代
5. 管理費	170,000	170,000	0	事務所使用料、光熱費等
6. 行動費	1,120,000	1,120,000	0	本部・事務局行動費
7. 事務費	130,000	130,000	0	用紙・封筒等事務消耗品費
8. リース代	170,000	170,000	0	コピー機リース・レンタル代
9. 印刷費	600,000	900,000	△300,000	退職校長会だより・Nen Rin印刷代、コピー機印刷代、新会員名簿印刷代
10. 通信費	230,000	200,000	30,000	電話代、切手・葉書代、資料郵送料等
11. 交通費	350,000	350,000	0	諸会議等旅費
12. 慶弔費	380,000	380,000	0	香典・レタックス代等
13. 負担金	680,000	680,000	0	全連退(会員1人400円)・群馬県教育振興会負担金
14. 積立金	300,000	200,000	100,000	特別会計へ積立(令和7年度の関ブロ群馬大会・創立60周年事業・会員名簿作成の資金)
15. 関ブロ関係	90,000	90,000	0	参加者負担金(2名)、旅費
16. 雑費	100,000	100,000	0	コピー機・パソコン等修繕費
17. 予備費	227,723	251,786	△24,063	
合計	5,677,723	5,941,786	△264,063	

令和4年度 特別会計予算(案)

1 収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 繰越金	943,959	943,952	7	
2. 繰入金(積立金)	300,000	200,000	100,000	・令和7年度関東甲信越地区退職校長会連絡協議会群馬大会(予定)に向けた資金・令和7年度群馬県退職校長会創立60周年事業に向けた資金・令和7年度「会員名簿」作成に向けた資金
3. 利子等	7	3	4	
合計	1,243,966	1,143,955	100,011	

2 支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1 繰出金	0	300,000	△300,000	前年度予算額Bは令和3年度作成「会員名簿」印刷製本代
合計	0	300,000	△300,000	

お祝いの言葉

会長 松井和夫

各種受賞および受章の皆様おめでとうございます。本来ならば総会で慶祝をするところですが、この場でお祝いを申し上げます。

今年には2名の方が上寿を迎えられました。そして、米寿を迎えられた方が39名おられます。退職後の30年近くから40年をお元気で地域の一員として、教育や地域の発展にご貢献されてきたことは、会員の誰もがそうでありたいと考えていることでもあります。全国連合退職校長会からの賀詞と本会からの記念品を贈呈させていただきます。

また、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章されました方が30名、教育功労等叙勲受章者の方が8名おられます。皆様は長年にわたり学校教育や教育行政等にご尽力をされた功績が認められて受章されました。これからも、それぞれの立場で教育の振興や地域への貢献、後輩の指導のためにご活躍されますことを祈念申し上げます。

最後に、長く本部役員と会長を2期4年間務め昨年退任された前会長の原秀介氏に特別表彰を贈るとともに、この度ご退任された理事の皆様感謝状を贈り、これまでのご活躍とご貢献に感謝を申し上げます。

各種受賞(章)おめでとございます

会員一同お祝い申し上げます

★上寿会員・寿詞贈呈者

- 高橋 旭 (甘楽・富岡)
- 内山 和夫 (伊勢崎)

4月御逝去

★米寿会員・賀詞贈呈者

- 武藤 哲 (前橋)
- 石川 隆 (前橋)
- 細谷 啓介 (前橋)
- 北爪 宏志 (前橋)
- 岩崎 正一 (前橋)
- 竹 茂夫 (前橋)
- 増茂 順雄 (伊勢崎)
- 倉林 宣夫 (伊勢崎)
- 井上 徳三郎 (佐波)
- 長岡 宥光 (北群馬・渋川)
- 神道 政夫 (北群馬・渋川)
- 真下 武利 (北群馬・渋川)
- 高橋 潔 (北群馬・渋川)
- 登坂 義衛 (利根・沼田)
- 林 初太郎 (利根・沼田)
- 福島 幸夫 (吾妻)
- 三枝 五男 (吾妻)
- 飯塚 光雄 (高崎)
- 須藤 健二 (高崎)
- 白井 兼夫 (高崎)
- 三木 俊義 (高崎)

★高齢者叙勲受章者

- 城田 武雄 (高崎)
- 小島 敏夫 (高崎)
- 中嶋 昇太郎 (安中)
- 今井 幹夫 (甘楽・富岡)
- 中川 袈裟二 (甘楽・富岡)
- 高橋 孝行 (甘楽・富岡)
- 新井 力夫 (多野・藤岡)
- 坂井 幸夫 (多野・藤岡)
- 渡邊 保 (桐生)
- 堀江 廣好 (桐生)
- 竹内 彰 (桐生)
- 小林 元昭 (太田)
- 茂木 務 (太田)
- 飯田 ヤス子 (太田)
- 梅澤 亨夫 (太田)
- 関谷 岩夫 (太田)
- 飯塚 邦夫 (邑楽・館林)
- 大河原 淑子 (邑楽・館林)
- 岡部 賢 (前橋)
- 高橋 弘 (前橋)
- 立見 宏 (前橋)
- 木暮 攻元 (北群馬・渋川)
- 小西 明 (北群馬・渋川)
- 滝沢 益男 (吾妻)
- 伊藤 熊夫 (吾妻)
- 桑原 賢一 (吾妻)
- 見城 喜八郎 (高崎)
- 串田 哲夫 (高崎)
- 静野 忍 (高崎)
- 安藤 博 (高崎)
- 渡邊 浩成 (高崎)
- 半田 茂 (安中)
- 光安 保親 (安中)
- 赤岩 昌三 (甘楽・富岡)
- 齊藤 要 (甘楽・富岡)
- 宮原 和泉 (多野・藤岡)
- 田中 悦二郎 (多野・藤岡)
- 三原 通男 (多野・藤岡)
- 神保 佳邦 (多野・藤岡)
- 茂木 邦男 (桐生)
- 田沼 武 (太田)
- 木村 善行 (太田)
- 糸内 信男 (太田)
- 岡部 育治 (太田)
- 藤野 隆 (邑楽・館林)
- 宮澤 久夫 (邑楽・館林)
- 大河原 幸雄 (邑楽・館林)
- 尾形 誠信 (邑楽・館林)

★教育功労叙勲受章者

令和3年春

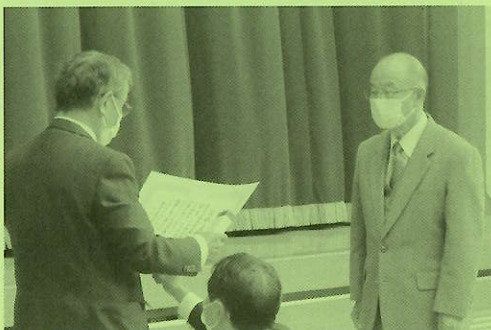
- 星野 保貞 (前橋)
- 川合 功 (前橋)
- 鎌田 範雄 (邑楽・館林)
- 増尾 仁一 (邑楽・館林)
- 高德 彰 (前橋)
- 令和3年秋
- 鎌田 和彦 (邑楽・館林)
- 除村 晃一 (藤岡)
- 井田 延夫 (伊勢崎)

★特別表彰者

- 原 秀介 (前会長)

★感謝状贈呈者

- 松岡 三吉 (前理事)
- 高橋 夏樹 (前理事)
- 井上 優 (前理事)



受賞(章) 者代表謝辞

心に残ること

1 88歳受祝のお礼に

桐生支部 渡邊 保

米寿を祝う案内拝受。退職後は降りかかる災禍を何とかくぐり抜け、生きてきた私達に対する温かな励ましの贈りものと感じました。退職校長会に心より感謝申し上げます。

昭和9年生まれの私達は、昭和16年入学「国民学校」へと名称の変更された学校でした。

同年の12月には大東亜戦争(太平洋戦争)勃発、出征兵士の見送り、戦地へ送る慰問袋作り、近隣の農家などへの勤労奉仕……5年生の夏に終戦、大変ひもじかった食糧不足、買い出し、配給への行列……。

昭和22年学制改革で新制中学校第一期生、民主教育、憲法学習、選挙と生徒会活動、部活動と、何もかも新しく刺激的だった。

その後時を経て、それぞれの学びを得る中で私達は、社会の中にある様々な課題に気付き、その結果教職の道を選んだ仲間となりました。

昭和1桁代最後生まれの今後の課題は、波瀾の歴史を背負った学校で身に付けた、忠信を失わない生き方を保ち続け、日々を生きたことだと考えます。

今回の祝賀を機に、心身の健康に気を配り、より良く生きる事を心に誓いお礼の言葉と致します。

令和4年度

新会員のご紹介

今年度退職加入者
過年度退職加入者

計
50名
2名
52名

前橋支部

寺島 忠

古谷 哲宏

渡邊 隆志

金井 英男

小林 悟

早乙女 俊夫

間々田 博

橋爪 浩子

反町 恭子

持木 豊

村島 剣次

飯塚 敏雄

吉原 秀人

庭山 まゆみ

涌沢 雅子

佐波支部

筑井 みつ子

伊勢崎支部

田口 正彦

木暮 浩美

北群・渋川支部

野本 泉

小林 澄子

高橋 一広

青木 芳弘

村山 聡

羽島 悟

松井 宏義

高崎支部

阿久澤 一広

熊井 正裕

原口 浩

常本 公志

大野 浩

安中支部

神部 孝之

高山 茂男

甘楽・富岡支部

神澤 悟

吉田 千恵子

見友 勝久

新井 貴人

多野・藤岡支部

小川 聡子

吾妻支部

櫻井 雅明

丸山 三美

利根・沼田支部

桑原 敏江

竹之内 篤

みどり支部

長沼 裕子

鎮西 宏子

太田支部

石井 逸雄

小暮 幸男

今井 東

邑楽・館林支部

石島 秀一

對比地 孝好

横山 みどり

関野 利男

丸山 芳人

阿藤 光浩



新会員代表あいさつ

吾妻支部 丸山 三美

この度は、伝統ある群馬県退職校長会に入会させて頂きありがとうございます。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束には至っていませんが、徐々に日常生活が戻って来ていることを感じています。

昨年までは、児童生徒の安全確保と保護者への説明責任、学びの保障と学校行事の遂行等、毎日頭を悩ませておりました。その都度、退職校長会の先輩方に相談させて頂き、思慮深い指導・ご助言により大いに助けて頂きました。

校長職を解かれ、4月より再任用として郡内の小学校に勤務しています。子どもたちの元気な声や先生方のバイタリティ溢れる行動に圧倒されながらも、心身の若さと教育への情熱をもたらしています。これまでの経験をもとに、子どもたちの健やかな成長と先生方の職能成長に繋がるよう日々奮闘しています。

新会員一同、教育の大切さを実感しながら、本会の目的「会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与すること」そして本会の充実・発展に貢献できますよう、会員の皆様のご指導を頂きながら努めてまいります。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

生き生き人生

サッカーを通して

健康で楽しい人生を

吾妻支部 茂木 良一

私は大学でサッカーを始め、以後50年サッカーと関わってきた。教員時代は部活の顧問として、また地域の少年サッカーの指導、更に社会人リーグ、シニアサッカーリーグでプレーをしてきた。今も70才以上のチームでサッカーを楽しんでいる。

現在、群馬県シニアサッカー連盟(40才以上)に加入しているチームは53チーム、1300人近い選手が登録している。シニアサッカーの人口は年々増加し、いつまでも元気でサッカーを楽しみたいという人が増えてきていることは大変喜ばしいことだ。

10年前、シニアサッカー連盟と協力して60才以上のチームのリーグ戦が3チームでスタートした。しかし選手が年を重ねるにしたがい、更に続けてプレーしたいという意欲が強くなり、5年前には65才以上のリーグ戦がスタートした。更に2年前には70才以上のリーグ戦も始まった。今は3チームあり80人くらいの方がサッカーを楽しんでいる。皆元気だ。我々のサッカーの目標は、勝利を目指すのではなく、みんなで元気にサッカーを楽しむことだ。関東大会、全国大会にも参加す

ることもあり、時には勝利の美酒を酌み交わしサッカー談義に花を咲かせるのも楽しみの一つだ。

サッカーには競技の特性として、



攻撃と守備がめまぐるしく入れ替わる。ゲーム中はキック・ダッシュ・ターン・ジャンプ・身体接触もあり、体力の消耗も激しい。怪我なく楽しむためには、年齢を重ねるほど普段からのトレーニングが必要になってくる。そこで私はほとんど毎日1時間くらい近くの公園で走ったりボールを蹴ったりして試合に備えている。ゲーム中の攻守で頭を使い、体力を鍛え、私にとってサッカーは健康維持、更に健康長寿の向上へのかけがえのないスポーツだ。

サッカーが楽しめる環境は、与えられるものではなく、皆で創り出すものだと思う。サッカーを愛する仲間たちと協力しながら互いに認め合い、生涯スポーツとしてのサッカーが構築されれば更に健康増進の一助となるだろう。

いづれ群馬県においても80才以上の人がチームでサッカーを楽しむ姿が見られることを望んでいる。

物故者の御冥福を会員一同心よりお祈りいたします

【敬称略】

《令和3年12月1日〜令和4年5月20日受付》

Table with columns for Name (氏名), Branch (支部), Age (年齢), and Date of Death (月・日). Lists names of deceased members and their details.

研修会のご案内

日時 令和4年10月30日(日) 13時〜

会場 前橋市 臨江閣

テーマ 講話

「臨江閣に関わった人々の歴史 秘話」

「ぐんま教育の日」推進大会

日時 令和4年11月19日(土) 13時〜

会場 前橋市第三コミュニティセンター

内容 地域連携をテーマにした実践発表会

事務局体制について

- 事務所開所日 毎週 火・木・金曜日
■開所時間 9:30〜15:30
■休業日 ◎夏季休業 8月1日〜8月31日 ◎年末・年始休業 12月28日〜1月4日
■5月1日現在の会員数 1,642名
TEL.027-235-1574
E-mail:t-0017@bi.wakwak.com

編集後記

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く中、政府はマスクの着用について基準を緩めることを発表しました。会話が少ない場合や、人との距離が取れる場面では、着けなくてもよいということです。現在群馬県では、変異ウイルス「BA.2系統」の感染が確認されています。引き続き、「自分の身は自分で守る」の意識を持って、感染しないよう注意していきましょう。